



かねがもり

野洲川放水路事業以前の水害を知る滋賀県守山市金森地区の住民と、当地域の地理特性や歴史をとおして、水害に対する備えについて意見交換を行いました。

琵琶湖河川事務所からは「水防災意識社会再構築ビジョン」の理念や野洲川地域安全懇談会で進める取組、野洲川放水路事業などについて説明し、地区の参加者からは日頃から疑問に感じていることの質問を受け、活発な意見交換となりました。

- 主 催：金森老人クラブ
- 日 時：平成30年1月10日（水）14:00～16:00
- 場 所：守山市金森自治会館
- 参 加 者：金森老人クラブ14名、守山市職員3名、琵琶湖河川事務所職員4名



次々に質問が飛ぶ



想定される浸水エリアを確認



意見交換の様子

開催へ

①昔の野洲川は、下流で北流と南流に分かれる天井川で、たびたび水害を引き起こしていた。



②1979年、放水路に通水し、水が流れやすくなったことで、水害が起りにくくなった。



③水田などの宅地化が進み、転入者が増えたことで、地域の歴史や水害を知らない世代が増えた。

④各地で想定外の災害が起きる中、この地域の歴史や水害への備えを次世代へ伝えなくてはならない。

○ 参加者からの意見・質問

- ・昭和28年の洪水では、この地区辺りまで水がきており、昔から水に浸かり易い場所があった。昔の洪水を知らない世代にも伝えていきたい。
- ・水害経験を伝える時、相手を不安にさせないように注意しなくてはならない。
- ・金森地区は旧河道が通っていたので、大雨の時に水が集まるのではないかと不安だ。
- ・避難を判断する際の数値的な目安を知りたい。
- ・浸水想定区域図の見方や活用の仕方がわからない。
- ・こういう勉強会をこれからも行っていきたい。



来年2019年は、野洲川放水路通水40年を迎えます。

【問合せ先】

国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)

